

No.	調査事項名(案)	調査の概要
S27	木造建築物の耐力壁に係る基準の合理化等に関する検討	木造建築物の耐力壁に係る基準の合理化等に関する以下の項目について、実験的・解析的検討を行う。 (1)大臣認定耐力壁の高さ等に係る基準の合理化に関する検討 (2)真壁仕様の耐力壁を軸組に両面張りする場合の受材の仕様に関する検討 (3)準耐力壁の仕様の拡充に関する検討
S28	基礎の耐震設計における改良地盤等の評価法の合理化に関する検討	既存杭の有効活用に関する要件の提示や改良地盤の耐震設計法を提案するため、既往の知見の収集や実験的・解析的検討を行う。
S29	長周期地震動に対する超高層鉄骨造建築物の安全性検証法に関する検討	部材の限界性能をクライテリアにした検証方法を提案するため、柱部材の限界性能に関する既往の実験結果の整理や追加実験、建物の地震応答解析等を行う。
S30	鉄筋コンクリート造の限界耐力計算における応答変位の算定精度向上に向けた建築物の振動減衰性状の評価方法の検討	建物の応答変形をより精緻に算定する方法を提案するため、変形算定に影響を与える建築物の振動減衰性状について、既往の実験データの収集及び追加の実験を行う。
F13	屋根・軒裏の開口部等の建築物の部分における防火措置の検討	主要構造部や開口部における防火措置に求められる性能について整理し、大臣認定や運用における取扱いを策定するため、必要な実験・検討を行う。
F14	主要構造部の防耐火性能等に関する大臣認定仕様基準の検討	既存の防耐火構造や不燃材料の大臣認定の構造方法等について、これらの認定内容から一般的な基準を新たに定めるために必要な実験・検討を行う。
F15	多様な設計ニーズに配慮した避難安全確保に係る規定の合理化に関する検討	多様な設計ニーズに対応できるようにするため、安全性の確保を前提としつつ、避難規定の合理化に係る検討を行う。
E9	エネルギー消費性能に関連する標準的な室使用条件の設定に関する検討	室使用条件に関する規格やガイドライン等の調査、設計者等に対するヒアリング調査、実建築物における使用実態調査を実施し、標準的な室使用条件を実態に即したものとし、基準告示で定められている設計一次エネルギー消費量や基準一次エネルギー消費量を改正するための情報を整理する。
E10	住宅における蓄電・蓄熱された電力・熱の評価の基盤整備	住宅の省エネルギー性能における蓄電・蓄熱された電力・熱の評価手法の確立に向け、余剰電力による蓄電・蓄熱の制御技術等や、蓄電・蓄熱された電力・熱の需要予測手法等を整理する。
E11	新設地域熱供給プラントの一次エネルギー換算係数に関する検討	新設の地域熱供給プラントを対象として、当該プラントの一次エネルギー換算係数を実態にあった適切な値として評価する方法について検討を行う。